



ほどよくハードに楽しむ
アウトドアスポーツ

ODSC
Outdoor Sports Club Since 1980

香川大学医学部
ODSC探検部

「キャンプそのものが目的じゃなく、登山の手段としてのキャンプばかりで…」と、初めは少し戸惑ったそうです。でも、そのハードさが魅力だと気づきました。一番思い出に残っているのは、屋久島の登山旅行。青春18切符を使って2日かけて屋久島に上陸し、山上の山小屋で一泊して、翌早朝に縄文杉を目指す強行スケジュールでした。その甲斐あって、誰も観光客が来いていない時間に縄文杉にたどり着く

ア ウトドアスポーツを自由に楽しむサークルが、医学部のODSC探検部。ODSCは、アウトドア・スポーツ・クラブの略です。探検部という言葉にインパクトがありますが、医学科4年の福田真之部長によると「昔は洞窟探検をすることもありましたが、残念ながら今はやっています。登山とサイクリングがメインで、最近では単にODSCと呼んでいます」とのこと。決められた練習日などではなく、各自でイベントを企画して全員にメールを渡し、それを見て参加したい企画にだけ参加するスタイルをとっています。このサークルとの掛け持ち。アウトドアが好きなのが、ゆるやかにつながって活動しています。

しかし活動そのものは、意外にハードで、宿泊を伴う登山や長距離のサイクリングが中心です。福田さんは、キャンプがしたくてサークルに入ったそうですが、「キャンプそのものが目的じゃなく、登山の手段としてのキャンプばかりで…」と、初めは少し戸惑ったそうです。でも、そのハードさが魅力だと気づきました。一番思い出に残っているのは、屋久島の登山旅行。青春18切符を使って2日かけて屋久島に上陸し、山上の山小屋で一泊して、翌早朝に縄文杉を目指す強行スケジュールでした。その甲斐あって、誰も観光客が来いていない時間に縄文杉にたどり着く



香川大学 バスケットボール部

ブカツの楽しさは コートの内と外にある

香 川大学バスケットボール部は、教育法・経済・工・農学部の学生が参加する大学公認の運動部です。特徴的なのは、男子キャプテンの大嶋将之さん（教育学部3年）と女子キャプテンの海老名真有美さん（教育学部2年）をはじめとする男子27人、女子6人全員がバスケットボール経験者だということ。大きな目標として4・6月に開催される新人および選手権大会と、10月に行われるインターカレッジの全国大会予選、西日本大会での勝利を掲げています。今年は男子が4・6月とも四国ベスト8、西日本大会では初めて3回戦を突破しベスト32をマーク。県リーグでは今年から一部昇格という好成績を上げています。

さぞかしハードな毎日なのだろうと思いきや、「よく『キツイでしょう?』と言われるが、中・高校時代は朝練や放課後の部活を毎日こなしていましたから、今はそんなにキツイという意識はありません」と大嶋さんは勉強や部活、バイトを上手に生活に組み込んでいる部員たちの充実した毎日を教えてくれました。

部員の多くが「大学でも続けたい」と思うバスケットボールの魅力はどこにあるのでしょうか?

「小・中学校時代のバスケットボールは指導が厳しくて『辛い』と思うこともあり



練習日は週4日。月・金曜は経済学部の体育館で18時～21時まで、水・土曜は教育学部の体育館で9時～12時まで活動しています。

ですが、振り返ってみると大会に出たり練習を頑張った思い出は「楽しかった」と感じることはばかりで、卒業した今もクラブのみならず交流が続いています。バスケットをしている子はさっぱりとした性格が多く、バスケットを通して大学でも気の合う友人ができたことは大きな収穫です」と海老名さんが言うと、「小学生の頃は単純にリングにシュート入れるのが楽しかったのですが、中・高校では指導者についていき、大会での勝利を目指すやりがい、そして大学では「自分たちで方針を決め、ベンチメンバーを含めた全員でバスケットを作り上げる」という面白さが加わります。OB会などで、社会人と交流する機会もありますから、言葉遣いや礼儀など、社会に出る前に必要なことを身につけられるのも勉強になりました」と大嶋さんからも即座に答えが返ってきました。学生としてバスケットボールができるのはこれが最後。しかし2人が「体育の先生になって、バスケットボール部の顧問になりたい」という夢を持っているように、バスケットボールに関わりたいたいという気持ちに終わりはありません。